

A-15 劔岳早月尾根

【山行日】2022年5月28日～30日

【CL】3547 【参加者】3463、3508、3527、3547、3580、3588、3659、3768

【コース】28日 7:10 馬場島(標高 760m)…7:55 松尾平…9:40 標高 1,600m…11:40 標高 1,920m 三角点…13:25 早月小屋(標高 2,210m)(テント泊) 29日 5:35 テント…7:15 標高 2,600m…8:25 標高 2,800m…9:10 獅子頭(標高 2,900m)…9:45～10:15 劔岳(標高 2,999m)…14:30 テント(泊) 30日 6:20 テント(撤収)…10:35 馬場島

今回の山行は天候に恵まれ、予定どおりメンバー8人全員が劔岳に登頂することができた。

1日目は、馬場島登山口から早月小屋までテントを3張担ぎ上げた。早月尾根は北アルプス三大急登の一つで、登山口から早月小屋まで下りがほとんどなく、一直線な登りが続く。みんな疲れ切った頃ようやく早月小屋のテント泊地に着いた。雪は早月小屋に近くにつれ増えてきたが、GW頃の積雪と比べるとさすがに少なめだった。

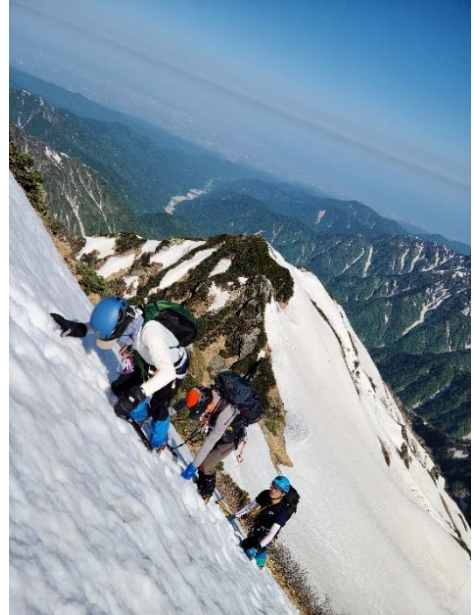
2日目は、テント地から劔岳のアタックである。上部は険しい岩稜と雪壁が連続する。しかし劔岳頂上まで、登りではロープを使わなかった。今回のメンバー



劔岳に全員登頂

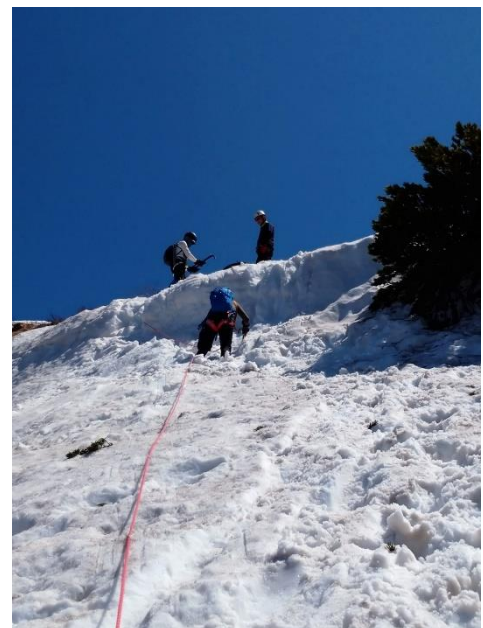
は足並みがそろっていたので、雪壁の登りは慎重に登れば問題ない。獅子頭付近の岩場も、鎖場の雪が溶けて鎖がほとんど岩の上または雪上に出ていたのので、これを使って鎖場ルートでロープなしで登降できた。従って有雪期の通常ルートである岩と雪のルンゼは通らなかった。劔岳頂上近くで、室堂からの登山ルート「別山尾根」に合流すると、急に人の数が増えた。室堂から登る登山者の方が圧倒的に多かった。劔岳頂上に着くと360度を絶景に囲まれ、達成感が高まった。この絶景の中心にずっと居たかったが、危険な下りが待っている。30分で頂上を後にした。急な雪壁の下りは、標高 2,700m～2,600m 付近で2カ所、ロープをフィックスしてクレイムハイストで降りた。

3日目は、テントを撤収して馬場島へ下山した。雪山の下山は雪がクッションになって普通は早く降りられるが、急峻な早月尾根では、そう上手くもいかず、それなりに時間が掛かった。下山後は富山市内の温泉と寿司を堪能して帰った。(3547)



2,700m 付近の雪壁を登る

で、雪壁の登りは慎重に登れば問題ない。獅子頭付近の岩場も、鎖場の雪が溶けて鎖がほとんど岩の上または雪上に出ていたのので、これを使って鎖場ルートでロープなしで登降できた。従って有雪期の通常ルートである岩と雪のルンゼは



危険な下りはロープフィックスで